

連携内容策定ワークシート

(食品産業事業者編)

1. 本ワークシートの位置付け	2
2. 連携の進め方	3
2.1. 情報共有に係る連携可能性の検討	4
2.1.1. 情報共有先の確認	4
2.2. 情報共有状況の確認	6
2.3. 事業に係る連携可能性の検討	8
2.3.1. リスクの洗い出し	8
2.3.2. 食品産業事業者間連携の有効性の確認	9
2.3.3. 必要な連携の検討	10
2.3.4. 連携候補先の選定	11
2.4. 連携内容の具体化・合意形成	13
2.4.1. 連携先毎の連携内容の整理	13
2.4.2. 必要事項の事前確認	15

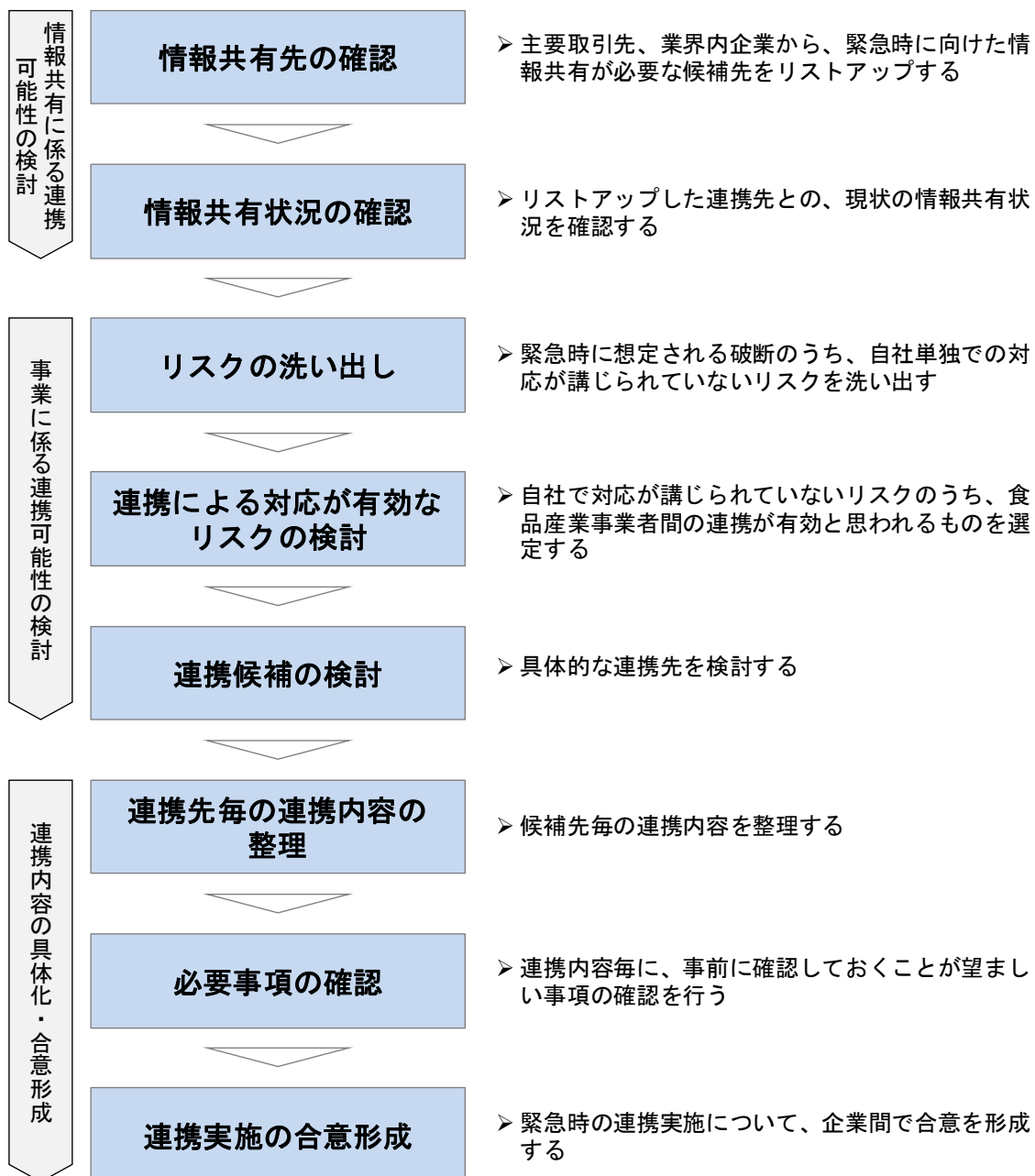
1. 本ワークシートの位置付け

本ワークシートは、食料供給に関連する民間企業が、緊急時においても自社の事業を継続し、食料供給を維持することを目的に、取引先、および業界内企業との連携を検討する際に活用することが期待される。

各社は本ワークシートおよび「連携内容策定ワークシート（連携内容）」を参照し、緊急時における自社のリスクを把握した上で、その解決に有効な企業間連携および連携先を選定し、連携候補先と事前に取り決めておく必要のある事項および留意事項について協議を行い、連携を具体化していくことが期待される。

2. 連携の進め方

緊急時対応のための企業間の連携は、以下の流れで実施する。



2.1. 情報共有に係る連携可能性の検討

2.1.1. 情報共有先の確認

主要取引先、企業、業界団体のうち、緊急時に連携が想定される主な事業者をリストアップする。

【主要取引先（サプライチェーン川上）】

企業名	取引内容

【主要取引先（サプライチェーン川下）】

企業名	取引内容

【主要取引先（物流・設備管理等その他）】

企業名	取引内容

【加盟業界団体】

企業名	自社との関係

【同業他社】

企業名	自社との関係

2.2. 情報共有状況の確認

リストアップした各社との、現状の緊急時に備えた情報共有の実施状況を確認する。

【連携候補①】

--

【情報共有状況の確認】

	緊急時の協力に係る合意形成ができているか
	事業継続担当人材の人的ネットワークが構築されているか
	緊急時対応体制・連絡先の共有がなされているか
	事業継続に係る取組み（BCP等）の共有がなされているか
	緊急時を想定した訓練・演習を共同で行っているか

【連携候補②】

--

【情報共有状況の確認】

	緊急時の協力に係る合意形成ができているか
	事業継続担当人材の人的ネットワークが構築されているか
	緊急時対応体制・連絡先の共有がなされているか
	事業継続に係る取組み（BCP等）の共有がなされているか
	緊急時を想定した訓練・演習を共同で行っているか

【連携候補③】

--

【情報共有状況の確認】

	緊急時の協力に係る合意形成ができているか
	事業継続担当人材の人的ネットワークが構築されているか
	緊急時対応体制・連絡先の共有がなされているか
	事業継続に係る取組み（BCP等）の共有がなされているか
	緊急時を想定した訓練・演習を共同で行っているか

【連携候補④】

--

【情報共有状況の確認】

	緊急時の協力に係る合意形成ができているか
	事業継続担当人材の人的ネットワークが構築されているか
	緊急時対応体制・連絡先の共有がなされているか
	事業継続に係る取組み（BCP 等）の共有はなされているか
	緊急時を想定した訓練・演習を共同で行っているか

【連携候補⑤】

--

【情報共有状況の確認】

	緊急時の協力に係る合意形成ができているか
	事業継続担当人材の人的ネットワークが構築されているか
	緊急時対応体制・連絡先の共有がなされているか
	事業継続に係る取組み（BCP 等）の共有はなされているか
	緊急時を想定した訓練・演習を共同で行っているか

【連携候補⑥】

--

【情報共有状況の確認】

	緊急時の協力に係る合意形成ができているか
	事業継続担当人材の人的ネットワークが構築されているか
	緊急時対応体制・連絡先の共有がなされているか
	事業継続に係る取組み（BCP 等）の共有はなされているか
	緊急時を想定した訓練・演習を共同で行っているか

2.3. 事業に係る連携可能性の検討

2.3.1. リスクの洗い出し

緊急時に想定される破断のうち、対応が不十分なリスクを確認する。

緊急時リスクチェックリスト

緊急時に発生する破断			自社での対応（例）		未対応
機能の破断	拠点の破断	経営資源の破断	人材の不足	- 他事業拠点からの応援人材の派遣体制構築 - 人材のマルチタスク化	
			資金の不足	- 最低限の手元運用資金の保有 - 各種保険への加入 - 金融機関との緊急時特別融資に係る調整	
			製品のレシピ・製造ノウハウの消失	製品のレシピ・製造ノウハウのバックアップ	
			ITシステムの破断	- 基幹システム・サーバーの分散配置 - 重要データのバックアップ	
			ハードの破断	生産拠点（工場等）の破断	- 工場の耐震補強 - 工場の分散化 - 他生産拠点での代替生産体制の確立
	生産以外の拠点（オフィス・倉庫等）の破断	- オフィス・倉庫の耐震補強 - オフィス・倉庫の分散化 - 代替オフィス・倉庫の保有			
	ライフラインの破断	電力供給停止	非常用電源の保有		
		ガス供給停止	非常用備蓄の保有		
		上下水道の破断	非常用電源の保有		
		通信インフラの使用不能	非常用通信手段の保有		
	取引の破断	原材料（製品）の出荷停止	主要原材料 サプライヤーの出荷停止	- 余剰在庫（原材料）の保有 - サプライヤーの分散化 - 代替サプライヤーの確保	
			周辺資材（包装材等） サプライヤーの出荷停止	- 余剰在庫（周辺資材）の保有 - サプライヤーの分散化 - 代替サプライヤーの確保	
		物流の破断	通常配送手段の破断	代替配送手段の確保	
			地域交通インフラの破断	自治体との緊急輸送手段利用に係る事前調整	
		商流の破断	受発注システムの停止	手作業によるオペレーション方法の決定	
			決済システムの停止	手作業によるオペレーション方法の決定	
			金融機関の停止	手作業によるオペレーション方法の決定	
	事業への影響		製品供給の停止	- 余剰在庫（製品）の保有 - 代替製品生産・供給体制の確保	

2.3.2. 食品産業事業者間連携の有効性の確認

対応が不十分なリスクのうち、食品産業事業者間の連携が有効な対応を確認する。

リスクに対する対応内容および連携先

緊急時に発生する破断		食品産業事業者間の連携による対応		取引先	業界
機能の破断	拠点の破断	経営資源の破断	人材の不足	・ 復旧人材の派遣	■
			資金の不足	・ 自社での対応が必要	
			製品のレシピ・製造ノウハウの消失		
			ITシステムの破断		
		ハードの破断	生産拠点（工場等）の破断	・ 生産拠点（工場等）の貸与	■
				・ 代替生産	■
				・ 設備の融通	■
			生産以外の拠点（オフィス・倉庫等）の破断	・ 生産以外の拠点（オフィス・倉庫等）の貸与	■ ■
	ライフラインの破断		電力供給停止	・ 自社での対応、または地域内での連携が必要	
			ガス供給停止		
			上下水道の破断		
			通信インフラの使用不能		
	取引の破断	原材料（製品）の出荷停止	主要原材料サプライヤーの出荷停止	・ 主要原材料の融通	■
			周辺資材（包装材等）サプライヤーの出荷停止	・ 周辺資材の融通	■
		物流の破断	通常配送手段の破断	・ 配送手段・ルールの代替	■
			地域交通インフラの破断	・ 自社での対応、または地域内での連携が必要	
		商流の破断	受発注システムの停止	・ 手動による受発注・決済オペレーションの実施	■
			決済システムの停止	・ 手動による受発注オペレーションの実施	■
			金融機関の停止	・ 手動による受発注オペレーションの実施	■
		事業への影響	製品供給の停止	・ 製品供給能力復旧状況の共有	■
				・ 平時とは異なる仕様の製品の供給	■
				・ 製品ラインナップの絞込み	■
				・ 受発注単位の変更	■
				・ 同業他社による代替供給	■
				・ 代替店舗への誘導	■

2.3.3. 必要な連携の検討

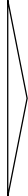
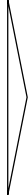
食品産業事業者間での連携が有効なリスクのうち、取引先等との連携が不可欠なもの、又は単独での対応も可能であるが、コスト等に鑑みて他社と連携して行うほうが効率的なものを選定する。

□ 自社単独で対応することが難しいリスク

原材料・周辺資材の出荷停止、物流手段の破断、受発注システムの停止等、自社のみで対応することが難しく、サプライチェーン全体での対応が必要なリスク

□ 他社と連携することが有効なリスク

工場・オフィス等拠点の破断に備えた拠点の分散化、ライフラインの破断に備えた非常用設備・備蓄の保有等、自社単独でも対応可能であるが、コスト増につながるため、他社と連携して行う方が効率的なリスク

自社単独で対応することが 難しいリスク		
他社と連携することが 有効なリスク		

2.3.4. 連携候補先の選定

連携毎に具体的な候補企業を選定する。

【連携内容】

--

【連携候補】

企業名	自社との関係

【連携内容】

--

【連携候補】

企業名	自社との関係

【連携内容】

--

【連携候補】

企業名	自社との関係

【連携内容】

--

【連携候補】

企業名	自社との関係

【連携内容】

--

【連携候補】

企業名	自社との関係

【連携内容】

--

【連携候補】

企業名	自社との関係

2.4. 連携内容の具体化・合意形成

2.4.1. 連携先毎の連携内容の整理

緊急時に備え、連携先候補と事前に取り決めておきたい連携内容を整理する。

【連携候補】

--

【連携内容】

情報共有に係る連携		緊急時協力に係る合意形成
		緊急時供給維持に係る人材のネットワーク構築
		緊急時対応体制・連絡先の共有
		各社の事業継続に係る取組みの共有
		訓練・演習の共同実施
事業に係る連携		

【連携候補】

--

【連携内容】

情報共有に係る連携		緊急時協力に係る合意形成
		緊急時供給維持に係る人材のネットワーク構築
		緊急時対応体制・連絡先の共有
		各社の事業継続に係る取組みの共有
		訓練・演習の共同実施
事業に係る連携		

【連携候補】

--

【連携内容】

情報共有に係る連携		緊急時協力に係る合意形成
		緊急時供給維持に係る人材のネットワーク構築
		緊急時対応体制・連絡先の共有
		各社の事業継続に係る取組みの共有
		訓練・演習の共同実施
事業に係る連携		

【連携候補】

--

【連携内容】

情報共有に係る連携		緊急時協力に係る合意形成
		緊急時供給維持に係る人材のネットワーク構築
		緊急時対応体制・連絡先の共有
		各社の事業継続に係る取組みの共有
		訓練・演習の共同実施
事業に係る連携		

2.4.2. 必要事項の事前確認

実施を検討している連携について、「連携内容策定ワークシート（連携内容）」を参照し、事前に確認しておくことが望ましい事項、留意事項に考慮した上で、候補先と実現に向けて調整を行う。